

しょうか。いつもは体験できないような専門家の話、各種実験施設・観測施設を目の当たりに、生徒さん達の希望も更に大きく膨らむことと思います。更に、1コースあたり10人程度と非常に少人数のクラス編成になっているため、1人1人の疑問に最後まで答えてあげることができ、理解も大きく深まると思います。そしてそんな若者達が将来の日本の科学技術を支える一翼を担ってくれば、サイエンスキャンプの担当者たちの苦労も吹き飛ぶというものです。

ちなみに1999年度のサイエンスキャンプ受け入れ機関は

航空宇宙技術研究所（東京都調布市）
 金属材料技術研究所（茨城県つくば市）
 放射線医学総合研究所（千葉県千葉市）
 防災科学技術研究所（茨城県つくば市）
 無機材質研究所（茨城県つくば市）
 国立環境研究所（茨城県つくば市）
 農業研究センター（茨城県つくば市）
 畜産試験場（茨城県稲敷郡茎崎町）
 果樹試験場（茨城県つくば市）
 農業工学研究所（茨城県つくば市）
 家畜衛生研究所（茨城県つくば市）
 森林総合研究所（茨城県稲敷郡茎崎町）

物質工学工業技術研究所（茨城県つくば市）
 大阪工業技術研究所（大阪府池田市）
 名古屋工業技術研究所（愛知県名古屋市）
 地質調査所（茨城県つくば市）
 電子技術総合研究所（茨城県つくば市）
 港湾技術研究所（神奈川県横須賀市）
 気象研究所（茨城県つくば市）
 通信総合研究所関西先端研究センター（兵庫県神戸市）
 日本原子力研究所（茨城県那珂郡東海村）
 理化学研究所（埼玉県和光市）
 核燃料サイクル開発機構（茨城県東茨城郡大洗町）
 宇宙開発事業団（茨城県つくば市）
 海洋科学技術センター（神奈川県横須賀市）

の25機関でした。受け入れ研究機関の半分以上は筑波研究学園都市に立地しています。募集人員はそれぞれ数人～20数人程度です。期間はすべての機関で夏休み中に設定されています。気象以外に興味を持っている生徒さんがいましたら、参考にして下さい。

ひとりでも多くの生徒さんに「サイエンスキャンプに参加しませんか」と声をかけてもらえたら、さいわいです。

2000年度秋季大会「スペシャル・セッション」のテーマ募集

2000年度秋季大会（京都、10月18～20日の予定）におけるスペシャル・セッションのテーマと世話人を募集します。スペシャル・セッションにおいては、世話人と講演企画委員会との協議のもとに、通常のセッション編成の枠にとらわれない企画ができます。具体的な実施方法については「天気」1994年2月号（78ページ）をごらん下さい。

なお、申込テーマの重複や総数によっては講演企画委員会で調整をする場合もありますので、ご了承下さい。

応募される方は、下記の事項を期限内にお知らせ下さい。

記入事項：

1. セッションのテーマ
2. 趣旨説明（400字程度）
3. 世話人およびその連絡先（予稿コピーの送付先住所を明記のこと）

以上は秋季大会告示（「天気」5月号予定）の際に掲載されます。

申込先：〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1
 気象研究所予報研究部内
 講演企画委員会（永戸久喜）

申込期限：2000年4月21日（金）必着